

国際先導研究 審査結果の所見

課 題 番 号	23K20037
研 究 課 題 名	変形機構の高次制御による超高強度・高延性金属の創成：実験＋計算二刀流人材の育成
研 究 代 表 者	辻 伸泰
審査結果の所見	<p>【学術的意義、期待される成果】</p> <p>本研究課題は、金属の超高強度化と高延性・靱性の両立を可能にする変形モード核生成制御に関する学理構築と、ナノ組織制御による金属材料創成手法の高度化によって、次世代の革新的構造材料を実現するものである。特に研究代表者らが独自に提案するプラストン概念に基づく強度－延性のトレードオフを打破する変形機構の本質的理解及びマルチスケールの実験検証が進めば、当該分野を先導する優位性と国際的に高い評価を得る研究成果の創出及び社会変革に繋がる大きな波及効果が期待される。</p> <p>若手研究者の人材育成計画については、「二刀流人材」構想や博士号取得後のシームレスなポストク育成プログラムなど、人材育成の仕組みに独自の工夫が盛り込まれており、多くの指導的な若手研究者の育成も期待される。</p>